

いしいけんいち

石井謙一さん

「栽培における摘粒省力化」で 農林水産省経営局長賞を受賞

3月4日、岩槻区にお住いの石井謙一さんが、全国青年農業者会議2020園芸特産部門にて、『シャインマスカット作付拡大への挑戦』と題し、栽培における摘粒省力化について発表し、農林水産省経営局長賞を受賞しました。

農業者会議は全国の4Hクラブ員が集い、プロジェクト発表・意見発表を行う大会です。

石井さんは「農家の日頃の悩みがこの発表を通じて少しでも改善してもらえたらいいと思います。自分もこの受賞を励みにし、『常にいいものを作る』を心がけて日々栽培をしていきたいです」と話していました。



受賞を喜ぶ石井謙一さん



S-GAP取得で選ばれる梨づくりを

3月30日、久喜市で梨園を営む株式会社ぴかいちファームがS-GAP[®]を取得しました。認定交付式では、春日部農林振興センター林淳一所长より証明書が授与されました。

埼玉県は平成26年度にGAP取得のさらなる普及に向けて、埼玉県独自のGAP規範であるS-GAPを策定し、県内農家に向け、農業の向上と安全安心な農作物作りを目指した「埼玉県農業安全確認運動」を推進しています。

今回S-GAPの内容とぴかいちファームの理念が合致したことで、春日部農林振興センターとTACが協力し交付までのサポートを行いました。代表の鈴木精一さんは「いまは消費者が農作物を自由に選べる時代です。『おいしい・新鮮』に加え『安全・安心』も大事な要素になっています。S-GAP取得は、皆さまから選ばれる梨づくりに欠かせません。美味しい梨で、皆が笑顔になるような梨を作りたいです」と話していました。



鈴木精一さん夫妻、春日部農林振興センター 林淳一所长

児童の命を守る 横断旗寄贈



3月29日、菊池義雄組合長は久喜市役所にて、梅田修一市長と柿沼光夫教育委員会教育長に学童用横断旗300本、保護者用横断旗100本、合計400本を寄贈しました。

春の交通安全週間を迎え、子供の安全を第一に考えている当JAでは社会貢献の一環として毎年横断旗を贈呈しています。

今年はJA南彩管内で学童用横断旗650本、保護者用横断旗384本、合計1,034本を寄贈しました。

菊池組合長は「JAは小学校の近くにあり、学童の集合場所としてかわりも深いので、子供の安全を守るため有効に活用していただきたい」と話しました。



左から 菊池組合長 梅田修一市長 柿沼光夫教育委員会教育長



女性部

3月23日、JA南彩女性部岩槻支部は、NPO法人岩槻まちづくり市民協議会・理事長栗原保講師による「岩槻の魅力探し講座」研修会を開催し12名が参加しました。

岩槻についてまだまだ知らない歴史・自然・文化が沢山あり、楽しく学びました。

